

7・シュノーケリング【所要時間 120分～180分 40名】

(1) ねらい シュノーケリングで海中の生物を観察する活動を通して、自然の美しさ、雄大さに触れ、畏敬の念を培うとともに、友だちと協力し、感動を分かち合いながら自然環境についての関心を深める。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：水泳帽、水着、タオル、着替え、ぬれてもよいTシャツ
- 引率者：救急薬品、バディー（2人組）編制
- 所員：救命胴衣、ハンドマイク、業務用無線、シュノーケル3点セット、シュノーケリングシューズ
(シュノーケル3点セット…水中メガネ、シュノーケル、フィン)

(3) 活動にあたって（引率者）

- シュノーケリングは使用の仕方によっては危険を伴うので、プールでの練習を義務づけている。
- プールでの練習は1回の指導につき40名以内で指導する。
- 2回目の活動は、牟岐大島でのシュノーケリング活動となる。
- 牟岐大島でのシュノーケリング活動については、海中ウォッチングの他に海中ビンゴゲーム、ネイチャーゲーム等の活動も考えられるが、その場合は、事前の連絡を必要とする。

(4) 指導上の諸注意（引率者）

- 「油断しない」「無理をしない」「溺れたまねをしない」など、安全について、事前指導を徹底させる。
- 引率者の役割分担（本部、指導係、監視係、保健係、連絡係等）を明確にし、所員との実施上の連絡を密にする。
- 活動前に必ず身体の状態観察を十分に行う。
- 活動中、細心の警戒を怠らないようにし、子どもたちの安全についてあらゆる角度から注意する。
- 活動中はバディーで活動することを徹底させる。
- 牟岐大島での活動の諸注意については、島めぐり活動の諸注意を読んでいただきたい。



(5) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. シュノーケリング活動の準備を行う。		● 宿泊棟で水着に着替え，着替えを袋等に入れ，プールの更衣室に整理整頓しておく。	
2. 集合，点呼，健康観察をする。	5	● 体調の悪い時は，引率者に申し出る。	● プール
3. 準備運動をする。	10	● 準備運動をする。	
4. 説明を聞き，用具を受け取る。	15	● 救命胴衣，シュノーケル3点セットの使用方法を説明し，着用する。	● ハンドマイク ● 救命胴衣 ● シュノーケル3点セット ● シュノーケリングシューズ
5. シュノーケリングの練習をする。	70	● バディーになって，お互いが確認しあいながら活動する。 ● シュノーケルクリア，マスククリアの方法について学習する。 ● フィンキックの練習をする。 ● 引率者と所員は，協力して，安全確保に万全を期し，事故防止につとめる。	● プール
6. 海中ウォッチングをする。	50	● 必ずバディーで活動する。 ● 活動をふりかえり，海への興味・関心を持たせる	● 小島の浜
7. 整理運動をする。	10		
8. 集合・点呼，後片づけをする。	10	● バディーごとに人員点呼をし，健康状態を確認する。 ● 用具の後片づけをし，着替えをする。	

